

平成30年度第1回国際観光受入部会の概要について

資料2

■ 会議内容

H30年度 第1回国際観光受入部会（H31.2.18）

- 県が実施している国際観光の推進について
- 高知市かられんけいこうち広域都市圏の取組について
- リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～について

主な意見について

○国際観光の推進について

【多言語対応】

- ・県内の多言語対応は一定進んでいると思う。一方で、間違った表記もまだある。
- ・駅での多言語表記も進んでいる。説明できる社員が少ないが、研修等を通じて観光客への対応を学んでいる。

【キャッシュレス決済】

- ・タクシー業界ではキャッシュレス決済に非対応の車輛が多い。
- ・宿泊施設では、キャッシュレス決済に関する売り込みが多い。どの事業を選択するかが課題である。

【接遇】

- ・ガイド団体では、英会話を勉強している団体もある。
- ・言葉が話せなくても、積極的に笑顔で対応している。
- ・外国語で話すよりも、ジェスチャーで対応する方が早い場合もある。
- ・逃げずに対応することが高知のホスピタリティ。

【ユニバーサルデザイン】

- ・分かりやすく伝えるため、日本語表記にマークを併記する方法がある。
- ・ピクトグラムは障がい者や外国人など、多くの人に通じる有効なツール。

○れんけいこうち広域都市圏の取組について

【観光案内所】

- ・観光案内を行うだけでなく、地域にお金を落とす仕組み決済環境といった課題にも取り組む。
- ・地域を巻き込んだ攻める「攻める観光案内所」を目指す。
- ・タウンモビリティもできる限り情報を伝え、連携していく。

【外国語観光案内システム】

- ・みんなでシステムを使い、不具合があれば修正するとよい。

○リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～について

- ・観光の目的は地域にお金を落としてもらうこと。
「食」を中心に商品開発をしっかりと取り組んでいかないといけない。

参考（H31年度国際観光受入環境整備事業の概要）

【国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備】

- 客船受入等業務委託料（29,815千円）：客船寄港時の臨時観光案内所の設置等（寄港確定：26隻）
- 外国人観光客受入研修実施委託料（14,784千円）：実用接客スキル習得研修等（5エリア約50事業者）
- 通訳コールセンター運営委託料（1,451千円）：4言語（英・中・韓・タイ）対応 約380施設利用
- モバイルWi-Fiルーター貸出事業（1,145千円）：外国人観光客に無料でモバイルWi-Fiルーター貸出（ポスター作成等委託料 819千円）（貸出場所：とさてらす他 8か所）